



SGH News Letter No.4



平成28年9月1日発行 愛媛県立松山東高等学校

海外FW 実施報告

8月に実施した海外FWの感想や様子をまとめました。

行先	日程	行程	生徒感想
台湾	8/1	高松空港→台湾桃園空港	<ul style="list-style-type: none"> ・台湾でも日本と同様、環境問題への意識が高いことに驚いた。環境問題は世界共通課題だと思う。 ・実際に台湾で働いている日本人を見て話を聞くことができよかったです。・開南大学で大学生と交流できてとても楽しかった。 ・国が違うと文化や習慣に違いがあるのだなと思いました。 ・一緒に研修に参加した同級生と仲良くなって嬉しかった。 ・私は将来通訳として海外で活躍したいと思っているのでとてもいい経験ができました。大学訪問では他国の文化について知ることができより一層海外に興味をもちました。 ・今回訪れた日系企業では、現地で働いている日本人はごくわずか、ほとんどが台湾人であることが分かった。
	8/2	宏亜食品・新蓬菜食品・台湾瑞穂銀行 台北支店・三浦鍋炉台北本社訪問（台北市）	
	8/3	三浦工業新工場・住華科技訪問（台南市）	
	8/4	開南大学訪問・交流会（桃園市）	
	8/5	台湾桃園空港→高松空港	
フィリピン	8/8	松山空港→羽田空港 →成田空港→マニラ空港	<ul style="list-style-type: none"> ・フィリピンで活動している日本の企業（ホンダ、渦潮電機）が環境や人々のために働いていることを知って、とても感動しました。 ・企業訪問はとても勉強になり、その企業で開発された商品と触れ合うこともでき楽しかった。マニラの高校生と英語で授業を受けることはとても新鮮な体験であり、日本でも活かせることをたくさん学ぶことができ、実に充実した時間だった。 ・もっと英語が理解でき、直接話すことができたら、もっと自分の知識として吸収できたと残念に思う事がたびたびありました。 ・バスが信号待ちの間に、赤ちゃんを抱いた女の人が窓をノックして「please」と言っていました。現地の生活の様子を身近に感じることができました。 ・フィリピンと日本では必要なものは違ってくるので、その現地にあった経営者、商品開発、販売をしていくことが大切なのだなと思いました。
	8/9	渦潮電機 販売製品の市場見学（マニラ・イントラムロス）・フィリピン工場訪問（イントラムロス）	
	8/10	HONDA 工場訪問（マニラ近郊）	
	8/11	フィリピン大学附属高校訪問（マニラ）	
	8/12	マニラ空港→成田空港 →羽田空港→松山空港	



台湾で最初の食事



三浦工業の現地工場見学・聴講



開南大学での交流



新幹線で台南へ



BEET 工場見学



電動3輪車



ホンダ工場見学



UPIS で同学年の授業に参加

個人での海外留学

『トビタテ!留学 JAPAN』制度を利用し、3名が経験。

- ①オーストラリア（ヌーサ） 1名 語学を勉強
- ②ペルー（ウルバンバ） 1名 国際ボランティアを勉強
- ③イギリス（デボン州） 1名 ESD を勉強

他にも、各種制度を使って、2名が短期留学を実施し、4名が1年間の留学に出発しました。

● ハワイ語学研修

愛媛県の高校生の留学促進事業を活用した、語学研修を実施致しました。今回は、宇和島南中等教育学校の生徒と合同で、2週間かけて、語学以外にもハワイの文化や歴史について学んできました。



● 課題研究 担当講師および研究テーマ 1年生 (9月開始)

No	氏名	所属	課題研究テーマ
1	今泉志奈子	愛媛大学法文学部	日・英語間の翻訳を通して探る英語らしさ・日本語らしさのありか ～今治バリィさんバイリンガル化プロジェクト～
2	近廣 昌志		グローバル企業の運営と展開から「国境」を考える
3	鷲原 進		グローバル化している社会現象のつながり
4	魁生由美子		高校生のためのコリア入門 ーポスト韓流時代の私たちの課題ー
5	川瀬久美子		地図で知る・考える・伝える！グローバル化
6	岡本 威明	愛媛大学教育学部	(1) 食品の機能性と安全性に関する研究 (2) 高校生および大学生の消費行動(特に食行動)調査
7	向 平和		動物園をモデルとして環境問題について考察する
8	福富 彩子		グローバル社会における音楽活動 ～鍵盤楽器を中心に～
9	李 賢映	愛媛大学社会共創学部	地球温暖化と国際社会
10	中山 晃	愛媛大学教育・学生支援機構 英語教育センター	グローバル・コミュニケーション・スキル (Global Communication Skills)
11	前原 常弘	愛媛大学大学院理工学研究科	核融合とプラズマ
12	小林 直人	愛媛大学大学院医学系研究科 医学専攻 医学教育学講座	最新の医学・医療と医学教育について考える ～グローバル・スタンダードな医学・医療と医学教育とは?～
13	松浦 一雄	愛媛大学工学部	カオスをシミュレーションする
14	石川史太郎		半導体技術から考えるグローバル社会
15	井門 俊		世界を変えるバーチャルリアリティの最先端技術
16	菅原 卓也	愛媛大学大学院農学研究科 生命機能学専攻	食品の保健機能に関する研究
17	張 蘭雲	元東京大学大学院理学系研究科 地質学専攻	身近なことからグローバル化を考える
18	嶋村 美和	元京都大学東南アジア研究所研究員	愛媛の国際化に取り組む
19	梶原 春菜	神戸大学大学院国際研究科 非常勤講師	外交問題について考えよう
20	長友 太郎	愛媛県立中央病院新生児内科 (PTA寄附講座)	赤ちゃんが生まれ育つ、活気あふれる愛媛県をめざして

● おわりに

本校がSGHの指定を受けてから約2年半が経過し、3年生が昨年度から行ってきた課題研究の成果をまとめた論文が完成しました。論文を書くという経験自体が初めての生徒が多く、作成には大きな苦労がありましたが、講師の先生方の熱心な御指導の下、完成することができました。9月21日(水)の文化祭で、各講座の代表生徒が論文発表を行い、3年生はSGHに関する活動を終了します。1期生ということで、すべてが初めてのことばかりでしたが、彼らの頑張りのおかげでSGH事業の道が切り拓かれてきました。これまで活動・研究したことが、3年生の将来に少しでもプラスになることを願っています。9月からは1年生の課題研究がスタートし、2年生は研究をさらに深めていく時期になります。3年生が切り拓いてくれた道をさらに充実したものにできるよう、私たちSGH事業課も努力していきたいと思っております。

最後になりましたが、これまで3年生を御指導いただいた先生方、本当にありがとうございました。また、1・2年生を御指導いただく先生方、今後ともよろしくお願ひいたします。

愛媛県立松山東高等学校

〒790-8521
愛媛県松山市持田町2-2-12
TEL: 089 (943) 0187
FAX: 089 (934) 5766

学校HP

<http://matsuyamahigashi-h.esnet.ed.jp/cms/>
英語版

<http://matsuyamahigashi-sgh.esnet.ed.jp/>

発行元: 愛媛県立松山東高等学校 SGH 事業課